

午 後

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午後の試験問題数は 64 問で、解答時間は 1 時間 55 分です。

医学一般

問題 57 次のうち、下肢の骨として正しいものを一つ選びなさい。

- 1 鎖骨
- 2 尺骨
- 3 腓骨
- 4 橈骨
- 5 仙骨

問題 58 血液及び循環器に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 肺静脈には動脈血が流れている。
- B 血液の約45%が細胞成分である。
- C 右心室は左心室に比べて心筋が厚い。
- D 冠動脈は心臓に栄養を供給している。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 59 消化器に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 胃の入り口を噴門という。
- B 小腸は、十二指腸、回腸、空腸の順に構成されている。
- C 大腸では、主に栄養分の吸収が行われる。
- D S状結腸に続いて直腸がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 60 ホルモンとそれを分泌する臓器に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 成長ホルモン-----下垂体前葉
- 2 インスリン-----膵臓
- 3 アドレナリン-----副腎
- 4 プロゲステロン-----卵巣
- 5 バゾプレッシン（抗利尿ホルモン）-----甲状腺

問題 61 若年者より高齢者に多いとされる現象に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 複数疾患の共存
- 2 安定的な水分代謝
- 3 胸痛のない心筋梗塞
- 4 日和見感染
- 5 薬物排泄能の低下

問題 62 次の文章の空欄A，B，Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

骨粗鬆症では、「A」、大腿骨頸部、橈骨遠位部に骨折を生じやすい。加齢による骨量の減少は、一般に「B」に強く生じる。骨粗鬆症の予防には、カルシウムの摂取、運動による骨形成促進、日光を浴びることによる「C」の産生促進などが重要である。

A B C

- 1 踵骨-----女性-----ビタミンA
- 2 踵骨-----女性-----ビタミンD
- 3 踵骨-----男性-----ビタミンA
- 4 椎骨-----女性-----ビタミンD
- 5 椎骨-----男性-----ビタミンD

問題 63 疾患とその診断に有用な検査対象に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 高血圧-----血小板
- 2 糖尿病-----ヘモグロビンA1c
- 3 バセドウ病-----甲状腺ホルモン
- 4 ネフローゼ症候群-----尿タンパク
- 5 痛風-----尿酸

問題 64 成人の安静時における次の状態で、正常と判定されるものに○、異常と判定されるものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 一日の尿量が400ml
- B 1分間の脈拍数が110
- C 1分間の呼吸数が28
- D 血圧が120/70mmHg

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 65 血圧に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 最低血圧とは、心臓が収縮したときの血圧である。
- B 白衣高血圧では、外来受診時に血圧が高値を示す。
- C 高齢者では収縮期高血圧が多い。
- D 降圧剤の一つにカルシウム拮抗薬がある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 66 脳血管疾患に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 発症の危険因子のうち、最も重要なものは高コレステロール血症である。
- B 廃用症候群を予防することが必要である。
- C 脳出血より、脳梗塞の方が発症頻度が高い。
- D 介護保険制度で、第二号被保険者の要介護認定の要件である特定疾病の一つである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

問題 67 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 保健所及び市町村保健センターの設置については、地域保健法に定められている。
- B 医療法によって、都道府県は医療を提供する体制の確保に関する計画（医療計画）を定めることとされている。
- C いわゆる3歳児健康診査の実施主体は、都道府県である。
- D 「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」には、生活習慣病及びその原因となる課題についての目標値が定められている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 68 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 緑内障では、水晶体が混濁する。
- B 我が国では、アルツハイマー病の患者数は減少傾向にある。
- C 前立腺がんの診断には、腫瘍マーカーが有用である。
- D パーキンソン病の治療の一つに、Lドーパの投与がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

精神保健

問題 69 精神病院への入院制度に関する次の記述のうち、正しいものに○，誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 任意入院が可能な場合でも、医療保護入院が優先される。
- B 応急入院では、医療及び保護の依頼があった者について、一定の条件に該当する場合は、本人の同意がなくても96時間を限り、その者を入院させることができる。
- C 措置入院とは、保護者がいない場合に市町村長の措置で入院させる制度である。
- D 医療保護入院では、精神病院の管理者は患者に退院請求等の権利があることを書面で知らせなければならない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 70 アルツハイマー型痴呆に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 認知症をもたらす疾患では最も頻度が高い。
- B 病状増悪期を繰り返しながら階段状に障害が重度となる。
- C 短期記憶に比べ長期記憶や手続き記憶は比較的よく保たれる。
- D 脳の画像診断で梗塞巣が見出される。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 71 うつ病患者の次の訴えのうち、自殺に至る危険信号として最も重視すべきものを一つ選びなさい。

- 1 食事がおいしくない。
- 2 家族に迷惑をかけている。
- 3 どこにも行きたくない。
- 4 人と話すのは面倒だ。
- 5 何をするのもおっくうだ。

問題 72 アルコール依存症の治療に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 何よりも禁酒を継続することが大切である。
- 2 節酒に努めるよう説得する。
- 3 時々、思う存分飲酒させる。
- 4 時間を決めて適量を飲ませる。
- 5 失敗して飲酒してしまったら、すぐに嫌酒薬を服用させる。

介護概論

問題 73 高齢者虐待等に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 同居家族による介護は、閉鎖的になりやすいため、虐待の発見が遅くなる場合がある。
- B 自分の意思で開けることのできない居室等に隔離しても、身体拘束とはいえない。
- C 高齢者虐待には、高齢者所有の不動産などを不当に処分することが含まれる。
- D 高齢者虐待とは、身体に傷を負わせることをいい、著しい心理的な外傷を与えることはその範疇に入らない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 74 次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 関連する機関や人が連携してサービスを提供する場合には、個人情報保護することよりも共有することを常に優先させる。
- B 介護従事者は、医師の質問に対して利用者自身ができるだけ自分で答えることができるように援助する。
- C 社会福祉士及び介護福祉士法では、介護福祉士は、介護の過程で医療行為を行ってよいと定めている。
- D 介護支援専門員は、利用者が住宅改修を希望した場合、必要に応じて作業療法士などに相談するよう助言する。

(組み合わせ)

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | A | B |
| 2 | A | C |
| 3 | A | D |
| 4 | B | C |
| 5 | B | D |

問題 75 健康に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「健康日本21」の目的は、乳幼児死亡率の減少である。
- B 「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」によれば、健康寿命とは、認知症又は寝たきりにならない状態で生活できる期間をいう。
- C 健康増進法により、受動喫煙の防止に関することが定められた。
- D 利用者の健康維持・増進のためには、介護従事者が自身の健康観に基づく主観的な判断によって、利用者にかかわることが重要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 76 介護福祉士の対応に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 利用者が不眠を訴えたので、市販の睡眠改善薬の内服を勧めた。
- 2 利用者が、朝、薬を飲み忘れたので、昼に2回分の内服を勧めた。
- 3 薬の内服は胃粘膜をおかしやすいので、薬はすべて食後に内服するよう利用者に勧めた。
- 4 利用者が貧血の治療のため鉄剤を服用していたので、緑茶の飲用をやめさせた。
- 5 利用者の口腔内に薬が残っていないか、口腔ケアの際に確認した。

問題 77 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護過程とは、利用者の生活上のニーズを充足するために、問題を抽出するまでの過程をいう。
- B 居宅介護支援とは、居宅サービスを提供することであり、居宅サービス計画の作成は含まない。
- C 指定居宅介護支援事業所の管理者は、介護支援専門員に居宅サービス計画の作成に関する業務を担当させることとされている。
- D 施設サービス計画を作成する際のアセスメントに当たっては、入所者又はその家族のいずれかと面接すればよいこととされている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 78 高齢者の一般的傾向に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 体性感覚が鈍麻し、転倒の危険性が増大する。
- B 味覚が低下し、濃い塩味を好むようになる。
- C 入眠障害の有無にかかわらず、中途覚醒は少ない。
- D 適応能力が低下し、環境の変化に対応しにくくなる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 79 介護従事者本人の感染予防対策に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 手指の汚染菌の除去には、流水と石鹼を使ったもみ洗い式手洗いよりも、消毒薬を入れた洗面器に浸すほうが効果的である。
- B インフルエンザが流行する兆しがあったので、インフルエンザワクチンの予防接種をした。
- C 体力が低下しているときには感染しやすいことを認識し、健康管理を十分に行う。
- D 疥癬に罹った利用者に接触した衣類は、洗剤を用いて水で洗濯すればよい。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 80 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 日本介護福祉士会倫理綱領において、介護福祉士は、自己の実施した介護福祉サービスについて、常に専門職として責任を負うとしている。
- B 自己決定が困難な認知症高齢者の場合、介護従事者の意思決定が優先される。
- C 介護福祉士は、在宅における終末期のケアに参加することはない。
- D 介護福祉士は、身体上又は精神上の障害がある人に対して福祉に関する相談援助を中心に行う。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

介護技術

問題 81 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 片麻痺のある人の体温測定は、健側で行う。
- B 呼吸は、意識的に変えることができるので、利用者に気付かれないように測定する。
- C 脈拍の数・リズム・強弱などから心臓の収縮状態を知ることができる。
- D 血圧は、測定時の姿勢には影響されない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 82 在宅高齢者の環境整備に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 居室は、家族と交流しやすい場所がよい。
- B 部屋を冷房する場合、外気の温度によって、こまめに温度を調節することが望ましい。
- C トイレの手すりは、狭くなるので付けないほうがよい。
- D 浴室の戸は、開き戸の場合、外側に開くものが望ましい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 83 寝具に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A ベッドの高さは、利用者自らがベッドから移動できる場合、通常60cmとする。
- B マットレスや敷き布団は、身体が深く沈み込む柔らかいものにする。
- C 防水シーツは、通常、ベッドの中央より少し頭部寄りに敷く。
- D 枕は、こまめに日光に当てるなどして、乾燥した状態を保つようにする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 84 食事の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の食習慣や嗜好への配慮が、食欲低下の改善につながることもある。
- B 食欲は、生活リズムや精神状態に左右されるため、日頃の生活を知ることは有効である。
- C 片麻痺のある人が臥床したままで食事をする場合、健側を上にして介助する。
- D 食器を選ぶ場合、大きさや重さとともに、個人の好みにも配慮する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 85 訪問介護員が、医療機関に搬送するまでの緊急時に行った行為に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 嘔吐物の中に血液が混入していたが、少量だったので、水分をとらせた。
- 2 ひねった足が腫れてきたので、足を包帯で固定し、冷やした後、挙上した。
- 3 鼻出血が止まらないので、頸部を後屈させ後頭部を軽く叩いた。
- 4 転倒して腕が腫れあがり変形したので、変形を正常な位置に戻して固定した。
- 5 衣服の上から熱湯を浴びたので、すぐに衣服を脱がせて水で冷やした。

問題 86 外出の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 片麻痺のある人の車いすからタクシーへの移乗介助では、麻痺側から乗車させる。
- B 片麻痺のある人のバスへの乗車介助では、一段上から引き上げるようにする。
- C 片麻痺のある人の下肢装具の装着介助では、膝を曲げて下腿三頭筋の筋緊張をゆるめて行う。
- D シルバーカーは、歩行器と比較して一般的に安定性が低い。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 87 高齢者の排泄の介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A おむつ交換の回数が増えることを気にして、水分摂取を控えてしまう人には、水分を摂取するように促す。
- B 排尿回数や尿の量・色を観察し、異常があった場合は、看護師等医療従事者に報告する。
- C 便秘で腹部をマッサージするときは、時計と反対回りにする。
- D トイレに間に合わず失禁した場合は、すぐにポータブルトイレに切り替える。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 88 高齢者の清潔の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 義歯は、歯肉の損傷防止等のため原則として寝る前には外し、水に浸して保管する。
- B 口腔ケアは、肺炎予防には効果がない。
- C 洗髪は、シャンプー液を手掌に取り、よく泡立てた後、頭皮を指腹でマッサージするように行う。
- D 入浴を拒否する原因には、排泄の失敗などで下着が汚れている場合もある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 89 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 尖足予防には、装具等を用いて足関節を90度に保ったり、足関節の背屈運動をしたりする。
- B 自力で体位変換できない人では、安眠のため夜間の体位変換は行わない。
- C ベッド上で仰臥位の人を移動する場合、持ち上げずに水平に動かす方が介護従事者の負担は少ない。
- D 褥瘡の好発部位は、仙骨部等の体重がかかって持続的に圧迫される骨の突出部である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問題 90 訪問介護員が一人暮らしの利用者宅に一人で訪問した時、利用者が倒れているのを発見した。身体を軽く叩きながら「大丈夫ですか」と大声で呼びかけたが、反応がなかった。その後すぐにとるべき行動に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 人工呼吸を開始した。
- 2 息・咳・体動などの「循環のサイン」を確認した。
- 3 大きな声で周囲に助けを求め、すぐに119番に通報した。
- 4 心臓マッサージを開始した。
- 5 気道を確保して呼吸を確認した。

問題 91 施設の介護職員が行う記録・報告に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 利用者数，利用者の状態と介護内容，特別に変わった状況などを記録し，勤務交替時に報告する。
- B 利用者のバイタルサインに異常を認めた場合，直ちに看護師等医療従事者に報告すれば，記録する必要はない。
- C 介護記録は，5W1Hで分かりやすく記録する。
- D 介護過程の記録の主目的は，監査や苦情に備えるためである。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

(介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 9 2 から問題 9 4 までについて答えなさい。

〔事 例〕

妻（74歳）と二人暮らしのKさん（77歳）は、2年前に脳梗塞による左片麻痺となり、左側上下肢に拘縮がある。要介護3の認定を受けている。支えれば立位はできるが、歩行は困難である。また、左側方に注意が向かず、左側にあるものを見落とすことが多い。

便意、尿意はあり、ポータブルトイレを使用しているが、間に合わないことが多く、着替えを頻回に行っている。ポータブルトイレへの移動以外は終日寝ていることが多い。食事は、右手による自力摂食は可能であるが、こぼしたり、時間がかかるという理由から、ベッド上での全介助である。

近頃では、食事時にむせることが多くなった。また、食欲が落ちてきた。入浴は、自宅で月2回のシャワー浴である。物忘れも見られ、気むずかしくなってきた。来訪者はほとんどいない。妻の白内障による視力低下と腰痛が原因して、夫への介護が困難になってきたため、介護支援専門員に相談した。訪問介護が開始され、週2回の清潔と食事の介助が行われている。

問題 92 Kさんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 終日寝ていることが多いので、脳梗塞が悪化する危険性が著しく高くなる。
- B ベッド上での全介助による食事が食欲低下の原因の一つとして考えられる。
- C ポータブルトイレを置く位置に十分留意し、左側に注意を向けるよう働きかける。
- D 排尿失敗による頻回の着替えは、妻の腰痛悪化につながる事が予測される。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | ○ | × |

問題 93 訪問介護員によるKさんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 飲み込みやすい調理として、ポタージュやゼリーが適している。
- B 誤嚥を防ぐため、頸部をそらせて食事介助をする。
- C 上衣の交換は、左側から脱がせ、右側から着せる。
- D ズボンの交換で、立位が必要になったときは、左側を支える。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 94 訪問介護員によるKさんの今後の介護のすすめ方に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食事の際は離床して、自力で食べるよう促していく。
- B 妻の健康が損なわれていくことが予測されるので、介護負担の軽減のために、常時のおむつ使用を勧める。
- C 身体の清潔を保持するためにも、通所介護の利用について介護支援専門員に相談する。
- D 認知症が懸念されることから、社会的交流は避ける。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

(介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 95 から問題 97 までについて答えなさい。

〔事例〕

Tさん（79歳）は、妻（74歳）と二人暮らしである。近所に息子夫婦が居住している。20年前から糖尿病を患い、食事制限が必要で、最近では、悪化傾向にある。3年前の入院がきっかけで出現した認知症が進行し、食べたことをしばしば忘れるようになり、食事量が増えてきた。現在、要介護2の認定を受けている。居宅サービスは、通所介護を週に1回、訪問介護を週に4回、訪問看護を2週に1回、それぞれ利用している。

最近では、排泄の失敗も頻繁に見られるようになり、夜間は紙おむつを使用している。また、自宅での入浴は拒否し、無理に勧めると怒り出すこともあり、妻の悩みの種になっている。そのため、入浴は通所介護時の週1回のみとなり、身体の清潔の介助も訪問介護に新たに加えられた。妻が膝関節の痛みにより立ち仕事が困難になってきたこともあり、調理の訪問介護サービスも利用するようになった。

問題 95 訪問介護員による入浴の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 通所介護での入浴の状況を聞き、自宅での入浴介助の参考にした。
- B 妻に自宅でのこれまでの入浴の方法を聞き、入浴を拒否する原因を探った。
- C 訪問介護員の判断で、通所介護での入浴回数を週2回に増やすよう通所介護事業所に依頼した。
- D 下着の汚れに気がいたら、入浴にこだわらず身体を拭くなどいろいろな方法を試みた。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 96 訪問介護員による食事の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 訪問看護師にもTさんの状況を理解してもらうよう、食事量などを把握し、連絡ノートに記入した。
- B Tさんの好みを聞き、適切なカロリーで、栄養バランスの取れた料理になるよう工夫した。
- C 糖尿病の食事療法について、妻とともに管理栄養士の指導を受けた。
- D 食後に「食べていない」と言ったので、食べたことを繰り返し説明した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 97 訪問介護員による排泄の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A トイレの場所が分からなくなったことも考えられるので、「トイレ」と書いて貼った。
- B 日中は、「トイレに行く時間ですよ」と定期的に誘導するように、妻に助言した。
- C トイレまでの廊下に障害物があったので、取り除いて歩きやすくした。
- D 日中、排泄を失敗したときは、強く注意した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

(介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 98 から問題 100 までについて答えなさい。

〔事 例〕

S さん（75 歳，女性，要介護 2）は，関節リウマチで手指などに変形があり，服薬を 10 年間続けている。別棟に住んでいる長女が買物や掃除をしているが，6 か月前に学習塾を開いてからは，S さんは平日の日中，独りで過ごすことが多くなった。

最近，一人では外出できず閉じこもりがちである。調理するのもおっくうになり，菓子パンを食べたり，出前を取ったりしている。この 6 か月間に体重が 5 キロ増加し，肥満傾向にある。尿失禁のためか，部屋は尿のにおいがする。

最近，長女が S さんに顔を見せるのは，食料品を買って冷蔵庫に入れるときや，雨戸の開け閉めのときぐらいになっている。

看護師が週 1 回訪問し，服薬管理や症状に合わせた生活指導を実施している。主治医は 2 週間に 1 回，訪問診療を行っている。看護師が，介護支援専門員に支援を要請した結果，訪問介護の導入となった。

問題 98 訪問介護員による介護の方法等に関する次の記述のうち，適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 在宅生活を継続していくことはできないと判断した。
- B 長女に対し，学習塾をやめ，介護に専念するよう助言することにした。
- C S さんの気持ちや生活環境，外出の可能性を考慮して，外出を支援する方法を検討した。
- D 体重が増加していることから，食事の内容や食べ方に関する情報を収集して，介護の方法を工夫した。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 99 サービス担当者会議で、訪問介護員が発言した内容に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 出席していた長女に希望する支援内容などについて、発言を求めた。
- B 毎食の摂食の介助が必要なので、訪問介護を1日3回に増やしたい。
- C 訪問時、排尿状況について、情報を収集していきたい。
- D 日中の過ごし方の工夫について、意見をもらいたい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 100 訪問介護計画に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 近くのスーパーに同行し、買い物を支援する。
- B 訪問している看護師の助言を受けて、機能維持のために本人のできる手指の作業を勧める。
- C 連絡ノートには、毎回の介護内容・方法などを記載し、目を通すよう長女に働きかける。
- D 昔話を繰り返すときは、話している途中でも中断し、他の話題に変えるようにする。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

形態別介護技術

問題 101 次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 聴覚障害のある人の補聴器は、専門家による調整が必要である。
- B 聴覚障害は、外耳から大脳に至るまでの間の異常によって起こる。
- C 言語障害は、大脳の右半球の病変によって起こることが多い。
- D 左半側空間無視は、大脳の左半球の病変が大きく関与している。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 102 片麻痺のある人のT字杖歩行に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A T字杖により支持基底面が広がり、歩行時の安定性が増す。
- B 杖歩行時は、麻痺側前方に位置して見守るのがよい。
- C 二動作歩行では、杖と麻痺側の足を同時に出し、次に健側の足を出す。
- D 階段を昇るときは、杖を一段上に上げ、麻痺側の足を上げ、次に健側の足を上げる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 103 心臓機能障害のある人とその介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 心臓ペースメーカーを装着した人は、定期的な検診と指示された服薬を順守する。
- B 食事は、できるだけ高カロリーとし、食事回数は1日2回とする。
- C 介護従事者は、利用者が、生命の危機と将来に対する不安を持っていることに留意する。
- D 介護従事者は、医師による運動処方に基づいて、社会生活を営むことができるよう援助する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 104 内部障害のある人とその介護に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心臓に人工弁置換手術を受けている人は、打撲や擦過傷に特に注意する。
- B 血液透析を受けている人は、たんぱく質を通常より多くとる。
- C 消化器ストマを造設している人は、食事時間とは関係なく入浴できる。
- D 肺気腫のある人は、口すぼめ呼吸と腹式呼吸を習得する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 105 精神障害のある人の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 窓の数を何回も数え始めたので、制止した。
- B 「人が窓際に立っている」との訴えがあったが、いつものことなので聞き流した。
- C 何事にも無関心で閉じこもり傾向にあったので、積極的に話しかけた。
- D 自殺への願望を話され「誰にも言わないで」と言われたが、主治医に相談するよう誠意をつくして話し、同意してもらった。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 106 知的障害のある児童とその介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 知的障害とは、発達期に生じた知的機能並びに適応行動に障害のある状態をいう。
- B ダウン症は、21番染色体の異常による。
- C 視覚障害を合併している場合は、後方から誘導することが原則である。
- D 一度に多くのことを話さずに、一つのことを具体的に分かりやすく話す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 107 訪問介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえて作成された訪問介護計画に沿って、個々のサービスを提供する。
- B 利用者ができることであっても参加させず、訪問介護員は決められた時間内で介護することを優先する。
- C 一人暮らしの高齢者への緊急時の対応として、日ごろから即応できる連絡体制を把握しておく。
- D 在宅では生活の環境が変化しやすいので、訪問介護計画は状況に応じて見直す。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 108 高齢者の機能低下の予防に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 脳卒中の後遺症がある場合、活動が不活発になりやすいので、筋力が低下しないよう急性期リハビリテーションを行う。
- B 保健師などが必要に応じ訪問し、介護予防の相談助言を行ったり、外出を促したりする。
- C 要介護高齢者の日常生活の自立を図るためには、訪問介護員は利用者の意思を尊重し、何でも要求どおりの生活援助を行う。
- D 高齢者が社会的役割や家族とのつながりを保持できるように、家族・近隣・地域との交流を図ることが重要である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 109 加齢による身体的変化と、それが要因となって生じやすい傷病に関する次の組み合わせのうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

(身体的変化) (傷病)

- A 閉経-----骨粗鬆症
- B 平衡感覚低下-----統合失調症
- C 知覚神経の機能低下--低温やけど
- D 視力低下-----糖尿病

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 110 視覚障害のある人に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 視野とは、眼球を精一杯動かして見ることのできる範囲をいう。
- B 昼盲（症）では、照明を明るくした方がよく見える。
- C 両眼の視力の和が0.01以下では、身の日常生活活動が極度に制限される。
- D 求心性視野狭窄のある人は、下方からの視覚情報を入手できにくく、転倒・転落などの危険を伴いやすい。

(組み合わせ)

A B C D

- 1 ○ ○ ○ ×
- 2 ○ ○ × ○
- 3 × ○ ○ ×
- 4 × × ○ ○
- 5 × × × ○

問題 111 次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 失見当識とは、忘れて覚えていないにもかかわらず取り繕いながら話すことをいう。
- B 感情鈍麻は、老人性認知症の初期症状である。
- C 脳血管性痴呆は、生活習慣病との関係が深い。
- D 脳血管性痴呆では、感情失禁が起こりやすい。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

(形態別介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 1 1 2 から問題 1 1 4 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Yさん（70歳）は、夫（75歳）と45歳の娘との三人暮らしであった。主たる介護者であった娘が事故で死亡し、3か月前に、介護老人福祉施設に入所した。

Yさんは40年前から関節リウマチで、現在、痛みはないが、複数の関節に変形と可動域制限がある。両側の手指の関節は他動的に伸縮する。手は口には届くが頭には届かない。食事は自助具を用いて可能である。座位や立位の保持は可能であるが、起き上がりや立ち上がりには介助が必要である。歩行は不安定で、移動には車いすを利用している。臥床時以外は頸椎カラーを常に装着している。

入所当初は夫がよく来所したが、今ではほとんど来所しなくなった。最近、夜間不眠を訴えるようになった。食事量が減り、会話も少なくなり、好きだったレクリエーション活動への参加を拒否するようになってきた。

問題 112 次の日常生活動作の中で、Yさんが自分でできると考えられるものはどれか、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 床に落ちたものを拾う。
- 2 ストローで水を飲む。
- 3 上衣のボタンをかける。
- 4 上衣の腰の後ろひもを結ぶ。
- 5 頸椎カラーを装着する。

問題 113 Yさんのベッドから車いすへの移乗介助に関する次の記述のうち、行ってもよいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 頸部と体幹を十分に前屈させて、床に立ち上がらせる。
- B ベッドを通常より少し高くして、床に立ち上がらせる。
- C ベッド柵を強く握らせて、床に立ち上がらせる。
- D 介助用リフトを用いて移乗させる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 114 Yさんについてのカンファレンスにおける介護職員の次のような意見について、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 会話の少なさ、レクリエーション活動への参加の拒否などがみられ、うつ傾向も考えられるので、主治医と相談する。
- B コミュニケーションの回復や活動性を高めるため、夫に来所回数が増やせないか相談する。
- C 食事量の減少は、胃や腸の病気による疑いがあるので、レントゲン技師に依頼して検査をしてもらおう。
- D 夜間の不眠を助長しないよう、深夜に呼ばれても、訪室しないように統一する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

(形態別介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 1 1 5 から問題 1 1 7 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Kさん（85歳・女性）は、一人暮らしをしていたが、2年前に脳梗塞で入院した。

その後、介護老人保健施設を経て、1年前に介護老人福祉施設に入所した。軽い右片麻痺がある。食事は、時間はかかるが自分で食べることができる。排泄は自立している。入浴は介助が必要である。

入所後、徐々に物忘れをするようになった。これまで娘同様に接していた担当のS職員が、居室を掃除して部屋を出ると、「財布がなくなっている、Sさんが盗んだ」と言うようになった。

また、夜間に徘徊があり、日中、居眠りをよくするようになった。特に入浴後には、必ず居眠りをしている。

医療関係者とのカンファレンスでは、昼間なるべく起こしておくことが当面の介護の具体的方針となった。

問題 115 「財布がなくなっている、Sさんが盗んだ」というKさんの訴えに対するS職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「財布がない」という訴えを受け入れて、Kさんと一緒に財布を探すことにした。
- B Kさんが盗まれたと興奮し始めたときは、まったく違う話題にするなどして、関心をそらすことにした。
- C Kさんが自分の物をしまいこむ場所を、日頃から観察しておくことにした。
- D 財布を盗んだと言われるので、S職員の判断でKさんの担当を代わってもらった。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 116 Kさんの夜間徘徊への介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Kさんの就寝時の環境についてアセスメントした。
- B Kさんの徘徊を発見したので、すぐにベッドに連れ帰った。
- C 職員の言葉遣いや態度がKさんのストレスにならないように穏やかに対応した。
- D 他の利用者との人間関係に問題が生じないように、他の利用者の居室への訪問を禁止した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 117 Kさんの日中の居眠りへの介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 夜間の徘徊で疲れているので、昼食時になっても、目を覚ますまでカーテンを閉めておいた。
- B 話しかけるなどの刺激を与えて、できるだけ起こしておくようにした。
- C できるだけ太陽の光が射す明るい場所で、人との交流を図るようにした。
- D 施設サービス計画に、散歩などの活動性を高める内容を加えた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

(形態別介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Aさん（89歳・男性）は、15年前より肺気腫と診断され、通院加療している。

夫婦二人暮らしであったが、妻が5年前に脳卒中で入院し、退院後、介護老人福祉施設へ入所した。この頃、Aさん自身が息苦しさを訴え入院した。在宅酸素療法が導入され、退院後も続けられた。その後、日常生活が困難となったため、妻の利用している施設へ2年前に入所した。

現在も、在宅酸素療法は続いている。起立、起き上がりはなんとか可能だが、筋力低下のため歩行時に介助が必要である。また、しばしば息切れや呼吸困難を訴える。食欲は徐々に低下してきている。排泄はポータブルトイレを使用し自立しているが、更衣や整容などは疲れるからと拒否することが多い。入浴は個別浴で、介助が必要である。日中はベッド上か妻の部屋にすることが多く、行事にも参加しない。

問題 118 在宅酸素療法中のAさんへの介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A Aさんが禁煙していれば、喫煙中の人と同席させてもよい。
- B 息苦しさを訴えたので、酸素流量を増やした。
- C 外出時には看護師に相談し、酸素ボンベなどを準備する。
- D 緊急時の対応についてあらかじめ把握しておく。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 119 Aさんの日常生活に対する介護職員の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 日常生活動作の目安は、動作時に息切れや呼吸苦を自覚しない程度とする。
- B 食事は、高カロリーで消化しやすいものを少量とする。
- C 入浴や洗髪時は、気道に水が入ると危険なので、鼻カニューレを外す。
- D 室内の換気は、寒冷刺激などを一気に受けないように、穏やかに換気する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 120 Aさんの施設サービス計画に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食欲回復のため、Aさんの好物を聞くなどして、栄養のアセスメントを行う。
- B ポータブルトイレで自立しているので、排泄に関する援助は不要である。
- C 他の利用者とのコミュニケーションを図るため、個別浴から一般浴に変更する。
- D 生活リズムを確保するため、Aさんのできる範囲で朝の整容やレクリエーションへの参加を勧める。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D